取扱説明書

ProLite

LCD Monitor

ProLite B2409HDS
ProLite E2209HDS

重要

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

日本語

警告表示について

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

日本語

ENERGY STAR®

当社はENERGY STAR® プログラムの参加事業者として、本製品がENERGY STAR®プログラムの基準に適合していると判断します。

愛情点検 長年ご使用のモニタの点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか	●電源コードを動かすと、電源がONになったりOFFになったりする。 ●キャビネットが異常に熱い。 ●煙が出たり、こげくさい臭いがする。 ●使用中に異常な音や振動などがある。 ●その他の異常や故障がある。

⇒

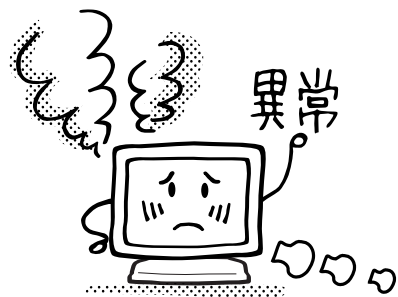
ご使用を中止してください

故障や事故防止のため、電源プラグをはずし、必ず販売店または飯山リペアセンター サポート・修理受付にご連絡ください。
点検・修理に要する費用などは販売店または飯山リペアセンター サポート・修理受付にご相談ください。

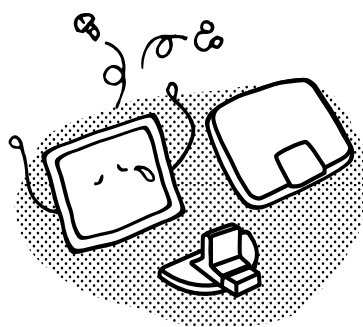
もくじ

安全にご使用いただくために

ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。

⚠警告

プラグを抜く

万一、異常が発生したら

煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または飯山リペアセンター　サポート・修理受付に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

分解禁止

キャビネットは外さない、改造しない

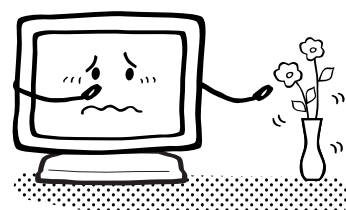
内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを外したり改造すると火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は販売店または飯山リペアセンター　サポート・修理受付にご依頼ください。

禁止

プラグを抜く

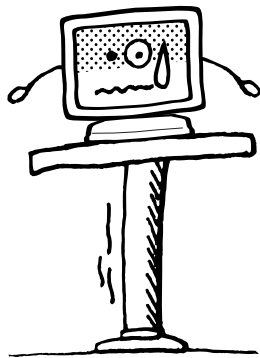
異物を入れない

モニタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電または故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
万一、異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または飯山リペアセンター　サポート・修理受付にご連絡ください。

禁止

プラグを抜く

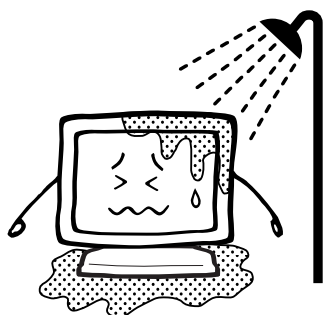
花びんやコップをモニタの近くに置かない

水やその他の液体、溶剤の入った容器をモニタの近くに置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電または故障の原因となります。
万一、水などが入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または飯山リペアセンター　サポート・修理受付にご連絡ください。

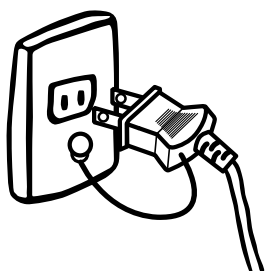
⚠ 警告

禁止

プラグを抜く

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
平らで十分に強度がある安定した場所に置いてください。万一、モニタを落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または飯山リペアセンター サポート・修理受付にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

水のある場所で使わない

風呂場など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。

アースを接地する

電源コードのアースリードを接地する

安全のため、必ずアースリード(黄/黄緑)を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。

禁止

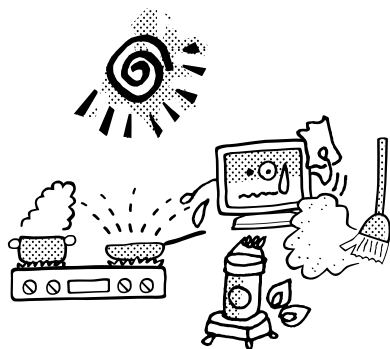
電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、モニタの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。
コードが傷んだらすぐに販売店または飯山リペアセンター サポート・修理受付に交換をご依頼ください。

接触禁止

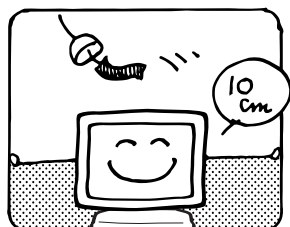
雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

⚠ 注意

禁止

置き場所を選ぶ

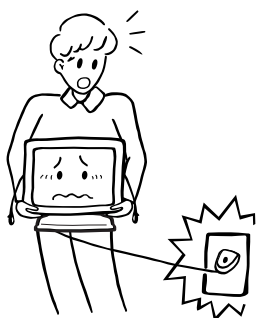
次のような場所に置かないでください。火災や感電または故障の原因となることがあります。

× 湿気やほこりの多い場所
× 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
× 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
× 熱器具の近く

禁止

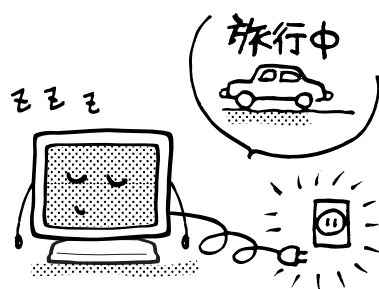
通風孔をふさがない

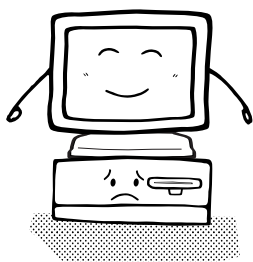
次のような使い方はしないでください。

× チルトスタンドをはずす。
× あお向けや横倒し、逆さまにする。
× 押し入れ、本箱など風通しの悪いせまい所に押し込む。
× じゅうたんや布団の上に置く。
× テーブルクロスなどをかける。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、モニタは周囲から10cm以上離して置いてください。

禁止

移動させるときは、外部の接続コードをはずす

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを確認の上、移動させてください。火災や感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間使わないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

コンピュータの上にモニタを置くとき

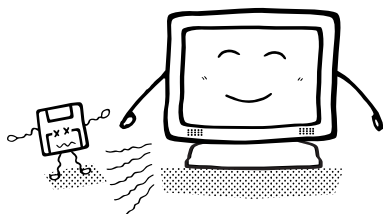
必ずコンピュータの取扱説明書などで強度を確認してください。コンピュータが破損する原因となることがあります。

⚠ 注意

プラグを持って抜く

電源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグにさわらないで

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

スピーカーにフロッピーディスクを近づけない

スピーカーは磁気を発生するため、磁気記録のデータが消えてしまうことがあります。

日本語

正しくご使用いただくために

目を大切に

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～60cmはなれたくらいが見やすくて疲れません。使用する部屋は暗すぎると目が疲れます。適度の明るさの中でご使用ください。また、長時間画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休息をおすすめします。

故障ではありません

■ お使いのコンピュータによっては、画像がずれる場合があります。画面位置を正しく調整してご使用ください。
■ ご使用初期において、バックライトの特性上、画面にチラつきが出ることがあります。この場合、電源スイッチをいったん切り、再度スイッチを入れなおしてご確認ください。
■ 液晶モニタは、表示する色や明るさにより微小な斑点およびむらが見えることがあります。
■ 画面上に常時点灯、または点灯していない画素が数点ある場合があります。これは、液晶パネルの特性によるものです。
■ 液晶パネルの特性上長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の残像(焼き付きのような症状)が発生する可能性があります。この場合、下記のいずれかの方法で徐々に改善されます。
・画面の表示パターンを変える。
・数時間電源を切っておく。
■ 本製品に使用しているバックライトには寿命があります。
画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、販売店または 飯山リペアセンター サポート・修理受付までお問い合わせください。

ご使用の前に

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用になる前に本書をよく読んで正しくお使いください。なお、複数機種を併せて記載していますので、仕様が一部異なるところはそれぞれの機種名を明記しています。
また、本書の裏表紙には保証書が記載されていますので、「販売店名・お買い上げ日」等の所定事項の記入及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

特長

◆ 最大1920×1080モードをサポート

◆ 高コントラスト1000：1(標準), ACR機能有, 輝度300cd/㎡, 高速応答速度5ms(標準)の高性能パネル採用

◆ デジタルスムージング機能搭載

◆ 調整の手間を軽減する自動調整機能

◆ ステレオスピーカ内蔵
2W+2W 出力のステレオスピーカ内蔵。

◆ プラグ&プレイ VESA DDC2B対応
Windows® 95/98/2000/Me/XP/Vista上でプラグ＆プレイに対応しています。

◆ 低電磁波・省電力設計：ProLite B2409HDS
TCO '03, パワーマネージメント機能搭載

◆ 省電力設計：ProLite E2209HDS
パワーマネージメント機能搭載

◆ VESAマウント規格(100mm×100mm)対応

◆ 盗難防止ロック対応

日本語

標準付属品

モニタ本体の他に、下記のものが全て含まれていることをご確認ください。

■ 電源コード*1
■ DVI-Dケーブル
■ オーディオケーブル
■ スタンド*4
■ 取扱説明書/保証書（本書）
■ D-SUB信号ケーブル
■ HDMIケーブル*2
■ スタンドベース
■ スタンド固定用ネジ（2ヶ）*3

補足 *1 付属の電源コードは本製品専用です。他の機器には使用しないでください。
また、次のような場合は、サポート及び保証の対象外となります。

■付属以外の電源コードをお使いになる場合
■日本以外の国でお使いになる場合
サポート及び保証の対象外となることをご承知の上で日本以外でお使いになる場合は、その国の安全規格に合った電源コードをご使用ください。

*2 日本向けのみ
*3 ProLite B2409HDSのみ
*4 ProLite E2209HDSのみ

スタンドの取り付け/取り外し：ProLite B2409HDS

⚠注意

■スタンドの取り扱いは安定した台の上で行ってください。モニタが転倒・落下してけがや故障の原因となります。

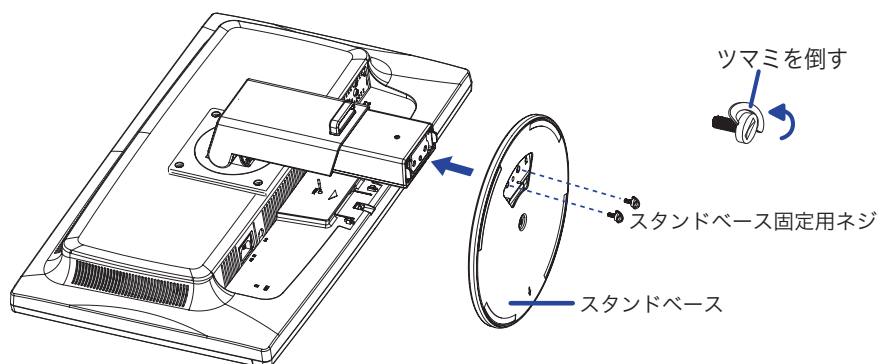
■モニタに強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

■スタンドの取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となります。

<取り付け>

① 平らで安定した台の上に、モニタの画面が傷付かないようにやわらかい布を敷き、モニタの画面を下にして置きます。

② スタンドベースを図のように取り付けます。

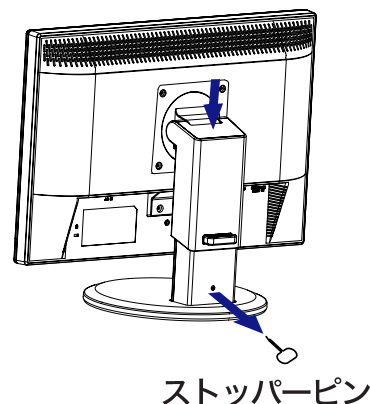
③ 固定用ネジで2ヵ所ネジ止めし、ネジのツマミを倒します。

<取り外し>

① 平らで安定した台の上に、モニタの画面が傷付かないようにやわらかい布を敷き、モニタの画面を下にして置きます。

② 固定用ネジのツマミを起こしてネジを取り外し、スタンドベースを取り外します。

<ストッパーピン>

本製品をご使用になる前に、スタンド後部のストッパーピンを外してください。その際、スタンド内部のバネの反動が生じますので、モニタを立ててスタンド上部を下に押しながら、ゆっくりと外してください。

日本語

スタンドの取り付け/取り外し：ProLite E2209HDS

⚠注意

■スタンドの取り扱いは安定した台の上で行ってください。モニタが転倒・落下してけがや故障の原因となります。

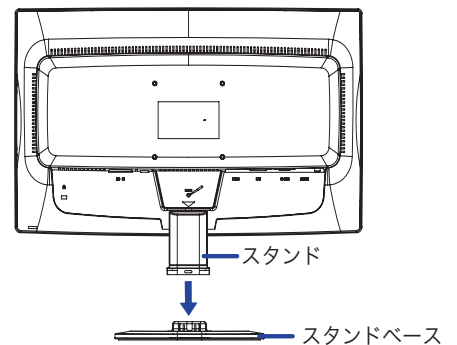
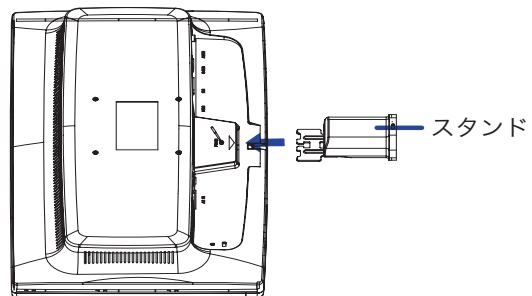
■モニタに強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

■スタンドの取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となります。

<取り付け>

① 平らで安定した台の上に、モニタの画面が傷付かないようにやわらかい布を敷き、モニタの画面を下にして置きます。

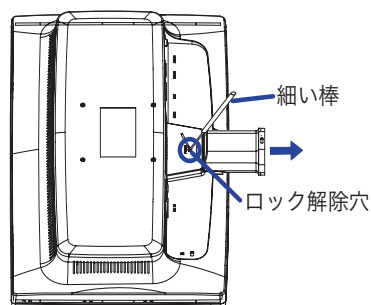
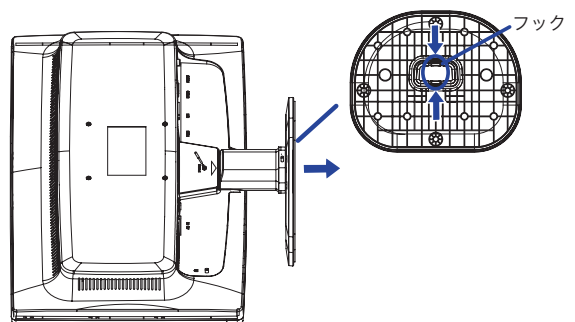
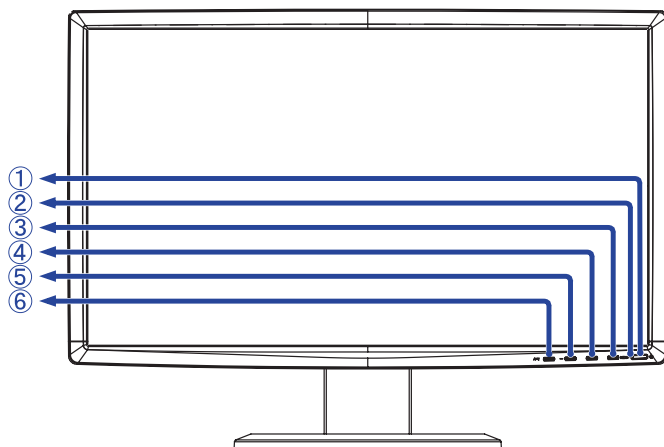
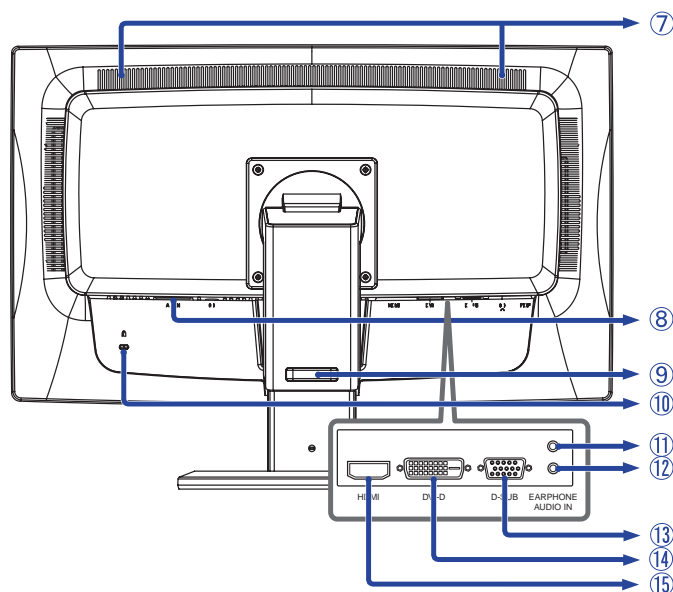
② 図のように本体にスタンドを挿入します。

③ スタンドにスタンドベースを取り付けます。

<取り外し>

① 平らで安定した台の上に、モニタの画面が傷付かないようにやわらかい布を敷き、モニタの画面を下にして置きます。

② 図のように底面のフックを押しながら、スタンドベースを取り外します。

③ モニタのロック解除穴に細い棒を差し込み、押しながらスタンドを取り外します。

日本語

① 電源スイッチ (⏻)

② 電源インジケータ

補足 青色点灯：通常動作時
橙色点灯：パワーマネージメント時

③ メニュー / 選択ボタン (MENU)

④ プラス / 音量調整ボタン（+）

⑤ マイナス / ECOモードボタン（−）

⑥ 自動調整ボタン (AUTO)

⑦ スピーカー

⑧ 電源コード接続コネクタ (AC IN)

⑨ ケーブルホルダー

⑩ 盗難防止ロック用ホール

補足 盗難防止のため、モニタにロックを取り付けることができます。

⑪ ヘッドフォン端子(EARPHONE)

⑫ 音声入力コネクタ (AUDIO IN)

⑬ D-SUBミニ15ピンコネクタ (D-SUB)

⑭ DVI-D24ピンコネクタ (DVI-D)

⑮ HDMI接続コネクタ (HDMI)

各部のなまえ：ProLite E2209HDS

① 電源スイッチ (⏻)

② 電源インジケータ

補足 青色点灯：通常動作時
橙色点灯：パワーマネージメント時

日本語

③ メニュー / 選択ボタン (MENU)

④ プラス / 音量調整ボタン（+）

⑤ マイナス / ECOモードボタン（－）

⑥ 自動調整ボタン (AUTO)

⑦ スピーカー

⑧ 電源コード接続コネクタ (AC IN)

⑨ 盗難防止ロック用ホール

補足 盗難防止のため、モニタにロックを取り付けることができます。

⑩ ヘッドフォン端子(EARPHONE)

⑪ 音声入力コネクタ (AUDIO IN)

⑫ D-SUBミニ15ピンコネクタ (D-SUB)

⑬ DVI-D24ピンコネクタ (DVI-D)

⑭ HDMI接続コネクタ (HDMI)

コンピュータとの接続：ProLite B2409HDS

⚠警告 ⚠注意

■ 安全のため、必ずアースリード(黄/黄緑)を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。

■ アースリードをコンセントに挿入, 接触させないでください。火災や感電の原因となります。

■ 信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとモニタやコンピュータの故障の原因となることがあります。

■ 周辺機器への取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。

① モニタおよびコンピュータの電源が「OFF」であることを確認します。

② 信号ケーブルをコンピュータに接続します。

補足 信号ケーブルのコネクタ部付属のネジをしっかりと締めてください。

③ オーディオ機能を使用する場合は、オーディオケーブルをモニタの音声入力コネクタとオーディオ機器に接続します。

④ 電源コードを電源コード接続コネクタに接続してから、コンセントに接続します。この際、アースの接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。

⑤ モニタおよびコンピュータの電源を「ON」します。

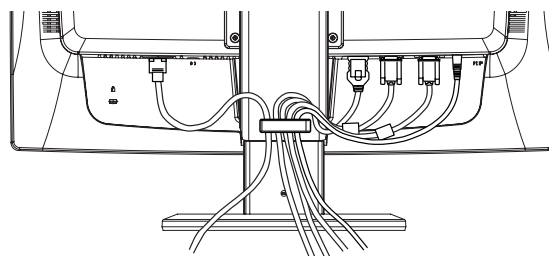
[接続例]

<後面>

*日本向けのみ

[ケーブルをまとめる]

ケーブル類をケーブルホルダーに通して、図のようにまとめます。

日本語

コンピュータとの接続：ProLite E2209HDS

⚠警告

■ 安全のため、必ずアースリード(黄/黄緑)を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。

■ アースリードをコンセントに挿入，接触させないでください。火災や感電の原因となります。

⚠注意

■ 信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとモニタやコンピュータの故障の原因となることがあります。

■ 周辺機器への取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。

① モニタおよびコンピュータの電源が「OFF」であることを確認します。

② 信号ケーブルをコンピュータに接続します。

補足 信号ケーブルのコネクタ部付属のネジをしっかりと締めてください。

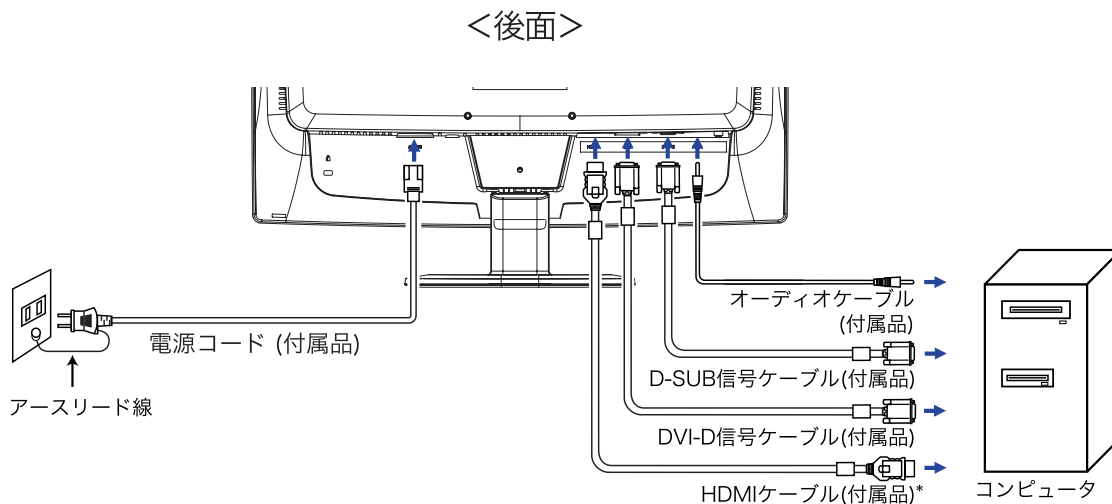
③ オーディオ機能を使用する場合は、オーディオケーブルをモニタの音声入力コネクタとオーディオ機器に接続します。

④ 電源コードを電源コード接続コネクタに接続してから、コンセントに接続します。この際、アースの接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。

⑤ モニタおよびコンピュータの電源を「ON」します。

日本語

[接続例]

<後面>

*日本向けのみ

コンピュータの設定

■ 信号タイミング
本製品がサポートしているお好みの解像度（P.30「対応信号タイミング」参照）に設定してください。

■ Windows 95/98/2000/Me/XP/Vistaプラグ＆プレイ対応
本製品はVESA規格のDDC2Bに対応しています。DDC2B対応のコンピュータと本製品付属の信号ケーブルで接続することにより、Windows 95/98/2000/Me/XP/Vista上でプラグ＆プレイ機能が動作します。この際、Windows 95/98/2000/Me/XPモニタインフォメーションファイルのインストールが必要になる場合がありますので、弊社ホームページのダウンロードサービスをご利用ください。

ホームページアドレス　　　http://www.iiyama.co.jp

補足
■ ダウンロード方法および操作方法についても、弊社ホームページに説明がありますので、ご覧ください。
■ MacintoshまたはUnixについては、ほとんどの場合モニタドライバは必要ありません。詳しくは、コンピュータの取扱説明書を確認したり、コンピュータメーカ等にお問い合わせください。

日本語

パネルの高さ／角度調節：ProLite B2409HDS

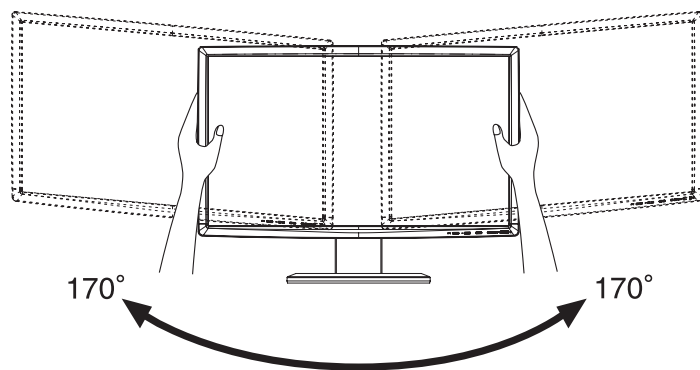
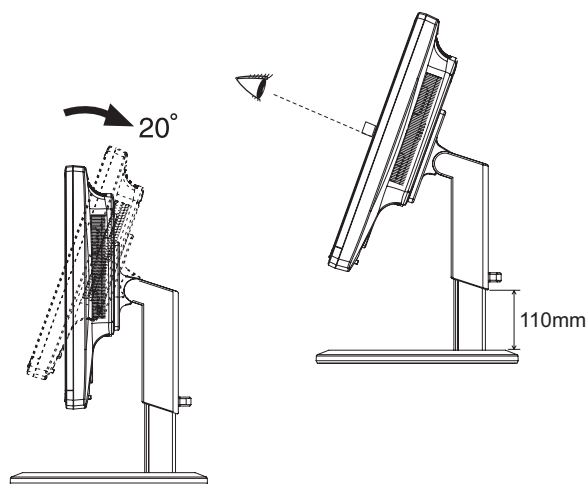
⚠注意 ■ 角度調節の際、液晶パネル面を押さないでください。液晶パネルを破損し、最悪の場合、液晶パネルが割れるおそれがあります。

■ 角度調節の際、スタンド可動部のスキ間に指を入れないでください。ケガの原因となることがあります。

■ 液晶モニタは、正面から見る画面が一番きれいに見えます。高さや傾きを調節して、見やすい位置でご使用ください。

■ 高さ調節や角度調節の際は、パネルの左右を持って行ってください。

■ 高さ調節範囲は110mm、角度調節範囲は左右各170°、上方向20°です。

日本語

パネルの角度調節：ProLite E2209HDS

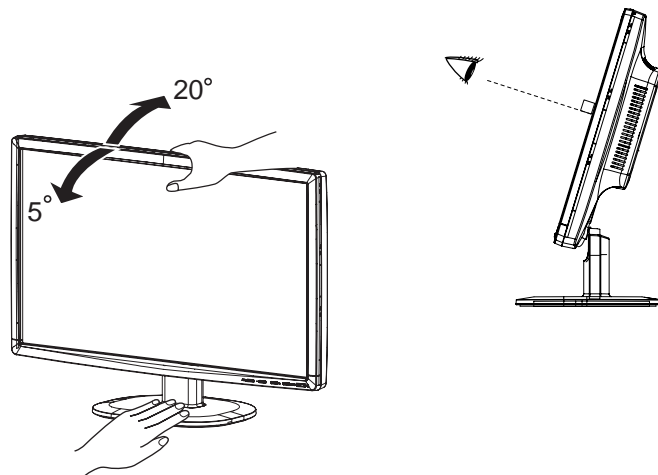
⚠注意 ■ 角度調節の際、液晶パネル面を押さないでください。液晶パネルを破損し、最悪の場合、液晶パネルが割れるおそれがあります。

■ 角度調節の際、スタンド可動部のスキ間に指を入れないでください。ケガの原因となることがあります。

■ 液晶モニタは、正面から見る画面が一番きれいに見えます。

■ 角度調節の際は、倒れないようにスタンド部を必ず押さえてください。

■ 調節範囲は上方向20°，下方向5°です。

■ 画面の角度は10°以内にすると目の疲れ等なく、最適に使用することができます。傾きを調節して、見やすい位置でご使用ください。

操作手順

P.30の「対応信号タイミング」にて、最良の状態になるようにあらかじめ調整してありますが、接続するコンピュータの種類により調整が必要になる場合があります。そのようなときは次の手順に従ってボタン操作を行ってください。

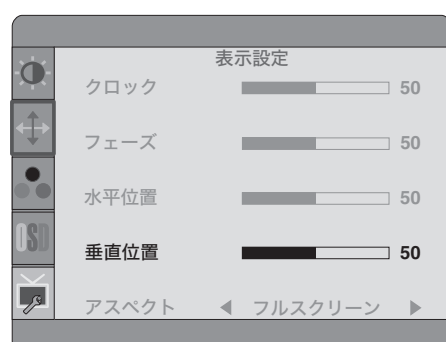
オンスクリーン表示の工場出荷設定言語は英語表示になっています。お好みにより言語を選択してください。なお、ここでは日本語表示で説明しています。

① MENUボタンを押すと、画面にメニューが表示されます。+ / − ボタンでメニューページを送ります。

② 調整したいアイコンがあるメニュー項目を選択し、MENUボタンを押します。 +/ − ボタンで調整する項目を選択します。

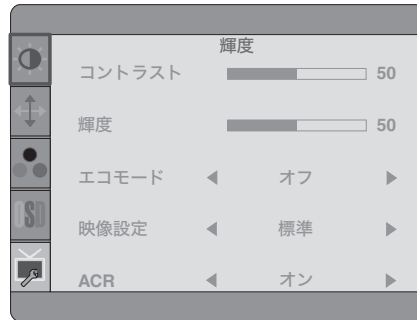
③ 再びMENUボタンを押し、 + / − ボタンを使って調整や設定を行っていきます。

**④ AUTOボタンを押して終了します。
OSDが消えると調整や設定の内容を自動的に記憶します。**

例えば垂直位置を調整したいときは、まずメニュー項目の表示設定を選択し、MENUボタンを押します。次に + / − ボタンで 垂直位置を選択し、MENUボタンを押します。
調整画面が表示されますので、 + / − ボタンでお好みの画面に調整します。最後にAUTOボタンを押して終了し、設定の記憶をします。

補足
- ■ 調整中にボタン操作を中止すると、「タイムアウト」の設定時間後にオンスクリーン表示が消えます。また、AUTOボタンを押すと1つ前の画面に戻り、オンスクリーン表示を消すことができます。
- ■ オンスクリーン表示が消えると同時に調整内容が記憶されます。この間に電源を「OFF」しないでください。
- ■ 画面位置, クロック, フェーズの調整内容は、信号タイミング別に記憶されます。これ以 外の調整項目については全ての信号タイミングに対して共通の内容が記憶されます。

日本語

調整メニューの内容

言語(Language)で日本語表示を選択した場合を黒色、英語表示を選択した場合を青色にて記載しています。

調整項目	画面の状態/調整ボタン	
コントラスト Contrast	弱すぎる 強すぎる	+ −
輝度 * Brightness	暗すぎる 明るすぎる	+ −
エコモード Eco ダイレクト調整	オフ	ノーマル
	Mode1	バックライトの明るさを抑え、消費電力を低減します。
	Mode2	Mode1よりバックライトの明るさを抑え、消費電力を更に低減します。
	Mode3	Mode2よりバックライトの明るさを抑え、消費電力を更に低減します。
映像設定 Picture Mode	標準	標準
	テキスト	文章を作成するときなどに最適です。
	インターネット	インターネットを使用するときなどに最適です。
	ゲーム	ゲームをするときなどに最適です。
	ムービー	映画を鑑賞するときなどに最適です。
	スポーツ	スポーツを観戦するときなどに最適です。
ACR ACR	オフ	標準
	オン	コントラスト比を改善します。

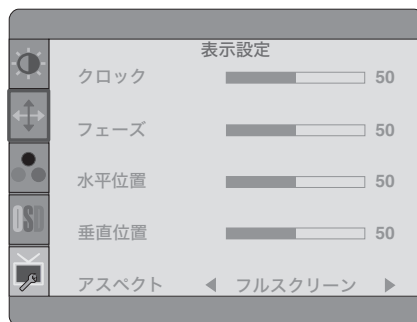
補足 ACRとは映像に応じて明るさを調節し、動画再生時にコントラスト比を改善する機能です。ACR機能使用時は、コントラスト，ブラトネス，sRGB，エコモード，映像設定の調整，選択はできません。

* 暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、輝度を調整してください。

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

● エコモード： メニュー画面を表示していない時に、− ボタンを押します。

日本語

調整項目	画面の状態/調整ボタン	
クロック* Clock	画面サイズが小さい 画面サイズが大きい	+ −
フェーズ* Phase	模様、文字がにじんだりちらついている	+ −
水平位置 H. Position	左によっている 右によっている	+ −
垂直位置 V. Position	下によっている 上によっている	+ −
アスペクト Aspect	フルスクリーン	拡大表示
	アスペクト	アスペクト比に拡大表示

* 調整方法および手順については、P.21「画面の調整」を参照してください。

日本語

色温度 Color Temp.

調整項目	画面の状態/調整ボタン		
Gamma Gamma	Mode1	ノーマル	
	Mode2	ダーク	
	Mode3	ハイコントラスト	
色温度 Color Temp.	ウォーム Warm	やや緑みがかったホワイト	
	ノーマル Normal	やや黄みがかったホワイト	
	クール Cool	やや青みがかったホワイト	
	ユーザー User	Red Red	弱すぎる → +
		Green Green	強すぎる → −
		Blue Blue	
	sRGB sRGB	sRGB	

補足 ■ sRGBとは、機器間の色再現(色彩、彩度等)の違いを規定・統一した国際規格です。
■ sRGBモードでは、ブライトネス，コントラスト，Gamma，エコモードが固定値となり調整できません。

日本語

OSD設定
OSD Setup

調整項目	画面の状態/調整ボタン
水平位置 H.Position	OSDが左によってる ☛ + OSDが右によってる ☛ −
垂直位置 V.Position	OSDが下によってる ☛ + OSDが上によってる ☛ −
タイムアウト Timeout	5~60秒までの間でOSDのオフタイマーを設定します。 ☛ + −

言語 Language			
English	英語表示	Portuguese	ポルトガル語表示
Deutsch	ドイツ語表示	简体中文	中文簡体字表示
Français	フランス語表示	Русский	ロシア語表示
Español	スペイン語表示	日本語	日本語表示
Italiano	イタリア語表示		

日本語

その他
Others

<table>
<tr><th>調整項目</th><th colspan="2">画面の状態/調整ボタン</th></tr>
<tr><td rowspan="2">リセット
Reset</td><td>はい</td><td>工場出荷設定に戻します。</td></tr>
<tr><td>いいえ</td><td>メニューに戻ります。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">入力選択
Signal Select</td><td>オート</td><td>映像入力を自動的に切り替えます。</td></tr>
<tr><td>D-SUB</td><td>映像入力をD-SUB入力に切り替えます。</td></tr>
<tr><td>DVI-D</td><td>映像入力をDVI-Dに切り替えます。</td></tr>
<tr><td>HDMI</td><td>映像入力をHDMIに切り替えます。</td></tr>
<tr><td colspan="3">補足 オート設定時は、同時に2種類以上の信号が入力されている時、AUTOボタンを1～2秒押し続けるとD-SUB／DVI-D／HDMIを切り替えることができます。どれか1種類の信号が入力されている時は、入力されている信号を自動的に選択します。
選択したい信号の接続されているコンピュータが、パワーマネージメントモードになっている場合は、切り替えできません。
また、各入力に設定している時、信号入力は固定となり、自動選択しません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">HDMI音声
HDMI audio</td><td>自動</td><td>音声入力を自動的に切り替えます。</td></tr>
<tr><td>ライン入力</td><td>音声入力をライン入力に切り替えます。</td></tr>
<tr><td>インフォメーション
Information</td><td colspan="2">コンピュータのグラフィックカードから入ってくる現在の入力信号関連の情報を表示します。
補足 解像度とリフレッシュ速度の変更に関する詳細については、グラフィックカードのユーザーガイドをご覧ください。</td></tr>
</table>

日本語

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

● 音量調整：メニュー画面を表示していない時に、＋ボタンを押します。

調整項目	画面の状態/調整ボタン
音量調整 Volume	音量が小さい ☛ ＋ 音量が大きい ☛ －

アナログ入力のみ

● 自動調整：　メニュー画面を表示していない時に、自動調整ボタンを押します。

調整項目	画面の状態/調整ボタン
自動調整* Auto Adjust	水平/垂直位置,クロック,フェーズ,の4項目を自動で調整します。

* この機能を正常に動作させるには、画面調整パターンを表示させる必要があります。 調整方法および手順については、P.21「画面の調整」を参照してください。

日本語

画面の調整

アナログ入力時は、必要に応じて画面を調整してご使用ください。

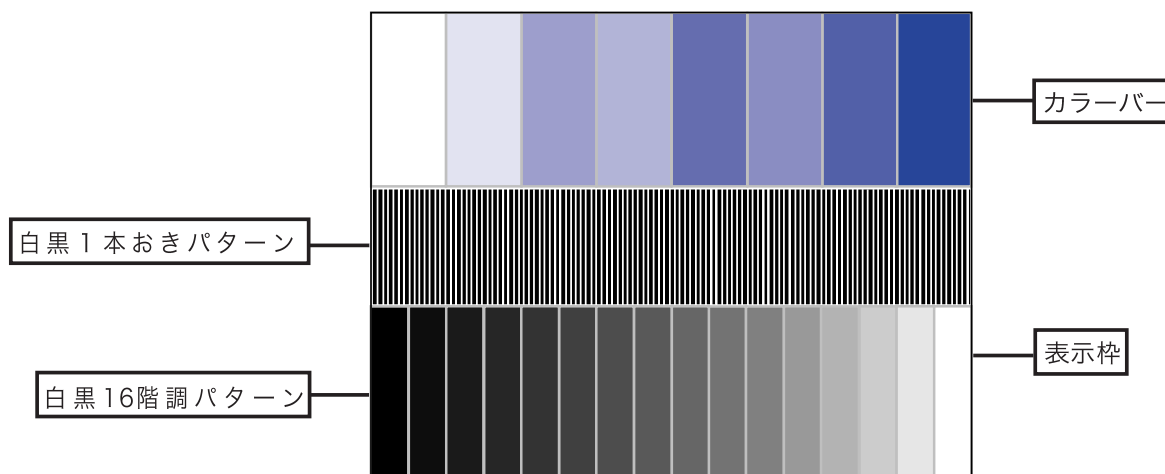
- 本製品での画面調整とは、お使いのコンピュータシステムに合わせ画面の位置を調整したり、表示される模様や文字のにじみ、ちらつきを最小限に調整することをいいます。
- 本製品に搭載されている液晶パネルは、1920×1080の解像度の時に最高の性能が発揮できるよう設計されています。1920×1080未満の解像度では、液晶パネル本来の性能は発揮できませんので、通常は1920×1080の解像度で使用することをおすすめします。
- 拡大表示モードでは画面拡大処理の関係上、表示される文字がぼやけたり、線が部分的に太くなります。
- コンピュータのディスプレイドライバによっては、画面の位置、周波数の微調整ができるものがありますが、正常に表示できなくなる可能性がありますので、微調整は本製品側の調整機能を使用してください。
- 調整は、電源を「ON」して30分以上たってから行ってください。
- 自動調整は解像度や画像のタイミングにより、微調整が必要な場合があります。
- 画面調整パターン以外では、自動調整が正常に機能しない場合があります。そのようなときは手動で調整を行ってください。

本製品には、画面の調整方法として位置,周波数,フェーズを自動で行う方法と、個々の調整を手動で行う方法があります。新しくコンピュータを接続したときや解像度を変更した場合は、まず自動調整を行います。それでも文字のにじみやちらつき、位置ずれがある場合は手動で微調整を行います。
いずれも、弊社ホームページ(http://www.iiyama.co.jp/)からサポートページへアクセスし、「画面調整プログラム」を起動して調整を行います。

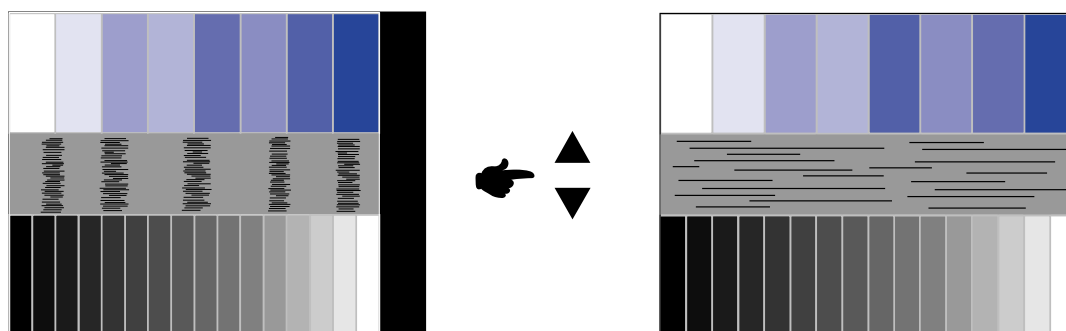
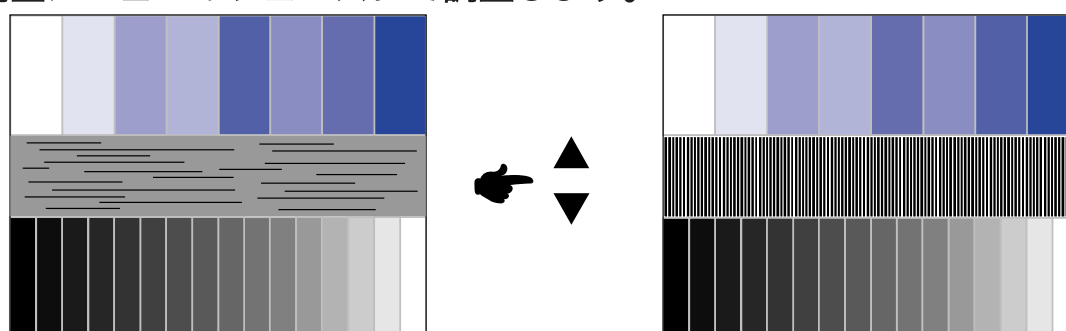
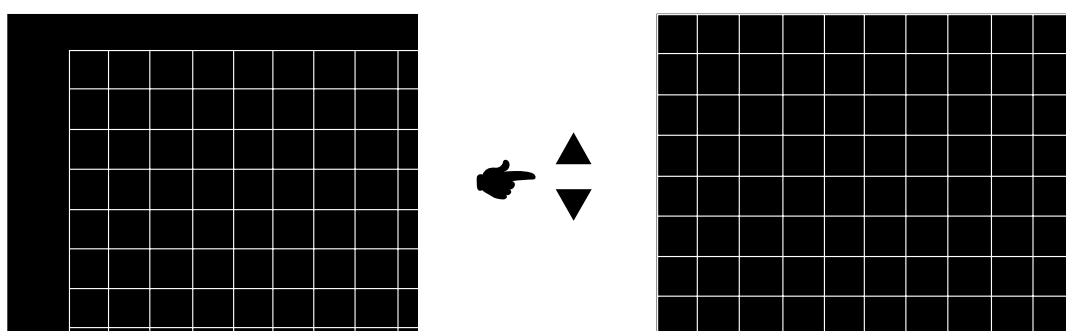
次の手順に従い調整を行ってください。本書では、Windows 95/98/2000/Me/XP/Vistaを基準に説明しています。

①「画面調整プログラム」を起動します。

② お使いのモニタの解像度を選択すると、調整パターンが表示されます。

[調整パターン]

③ AUTOボタンを押します。(自動調整)

④ 自動調整を行っても画面のちらつきやにじみ、位置ずれがある場合は、以下の手順で手動調整を行います。

⑤ 調整メニューの周波数にて調整パターンの右枠が表示領域の右端にくるよう調整します。

⑥ 白黒一本おきパターンに注目し、横縞状のノイズ、にじみ、ちらつきが最小限になるよう、調整メニューのフェーズにて調整します。

⑦ 画面調整プログラムの「位置」を選択し、調整メニューの垂直位置, 水平位置にてクロスハッチパターンの上下左右枠が表示領域に入るよう調整します。

補足

■ 周波数を調整中、調整パターンの左枠が表示領域の左端からずれてしまう場合は、クロックと水平位置を交互に調整してください。

■ クロック調整は白黒一本おきパターンに注目し、縦縞状のノイズが無くなるよう調整するのも一つの方法です。

■ クロック,垂直位置,水平位置を調整中、画面が一瞬乱れることがありますが、故障ではありません。

■ クロックを調整しても表示領域に収まらない場合は、③からもう一度調整を行ってください。

■ フェーズを調整しても画面の一部分にひどくにじみやちらつきが残る場合、クロックが正確に調整されていない可能性があります。⑤からもう一度調整を行ってください。
それでもにじみやちらつきが残る場合、コンピュータのリフレッシュレートを低く(60Hz)設定し、③から調整を行ってください。

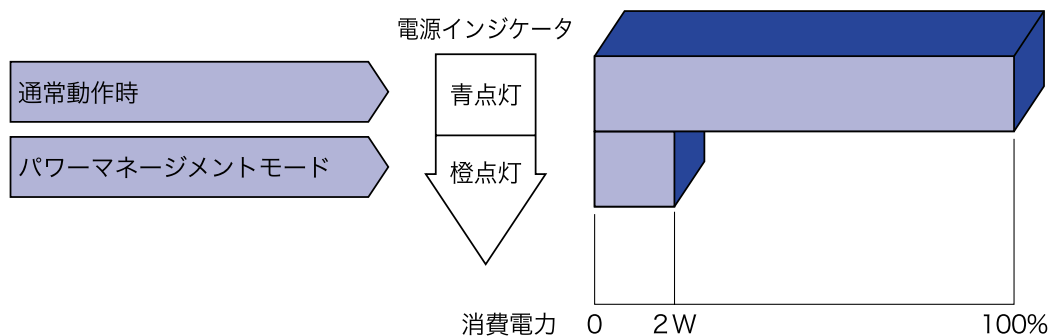
■ フェーズを調整中、水平位置がずれてしまう場合は、フェーズ調整を終えてから水平位置にて調整してください。

日本語

⑧ 最後に、画面調整プログラムの「明るさ」を選択し、調整メニューのブライトネス,コントラストにて、調整パターン下部の白黒16階調が見えるよう、目が疲れない程度の明るさ、色合いに調節します。
「終了」をクリックしてプログラムを終了させてください。

パワーマネージメント機能

本製品のパワーマネージメント機能は、ENERGY STAR®, VESA DPMSの省電力に関する規格に対応しており、一定時間コンピュータを使用しないときにモニタの消費電力を自動的に抑えることができます。この機能はVESA DPMSに対応したコンピュータと接続して使用される場合のみ機能し、次のモードを備えています。モードの時間設定等はコンピュータ側で行います。

■ パワーマネージメントモード
コンピュータからの水平同期信号/垂直同期信号のどちらか一方、または水平および垂直同期信号がOFF状態になるとパワーマネージメントモード（消費電力 2W以下）となり、画面が暗くなるとともに電源インジケータが橙色に点灯します。この状態でマウスまたはキーボードを操作すると、画面は数秒後に表示され通常動作状態に戻ります。

補足 ■ パワーマネージメントモードでも電力を消費しています。夜間や週末などモニタを使用しないときは必ず電源スイッチを切り、不要な電力消費を避けてください。
■ 水平または垂直同期信号がOFFになっているにも関わらずビデオ信号が出力されているコンピュータについては、パワーマネージメント機能が正常に動作しない場合があります。

日本語

故障かなと思ったら

「故障かな？」と思ったら次の順番で調べてみてください。

1. 「操作手順」に従い症状に合わせて調整してみてください。なお、映像が出ない場合は2へ進んでください。
2. 調整項目にない、または調整しても症状が解消されない場合は次のチェックをしてみてください。
3. もしここに記載されていないような症状が起こったり、記述通りのチェックをしても症状が消えなかったときは、モニタの使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになった販売店または飯山リペアセンター　サポート・修理受付にご連絡ください。

症状	チェックポイント
① 映像が出ない (インジケータ点灯せず)	□ 電源コードが確実に接続されていますか？ □ 電源スイッチが「ON」されていますか？ □ 電源コンセントに電気がきていますか？ 別の機器で確認してください。
(インジケータ青色)	□ ブランクスクリーンセーバーが作動中ではありませんか？ マウスやキーボードを触ってみてください。 □ 輝度およびコントラストが最小になっていませんか？ □ コンピュータの電源は入っていますか？ □ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
(インジケータ橙色)	□ パワーマネージメント状態ではありませんか? マウスやキーボードを触ってみてください。 □ コンピュータの電源は入っていますか？ □ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
② 画面が乱れている	□ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？ □ コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？
③ 画面の位置が片寄っている	□ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
④ 画面が明るすぎる／暗すぎる	□ コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？

症状	チェックポイント
⑤ 画面が揺れる	□ 電源電圧は正常ですか？ タコ足配線はやめてください。 □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
⑥ 音が出ない	□ オーディオ機器(コンピュータ等)の電源は入っていますか？ □ オーディオケーブルが確実に接続されていますか？ □ 音量調整が最小になっていませんか？ □ Mute(消音)になっていませんか？ □ オーディオ機器の音声出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？
⑦ 音が大きい／小さい	□ オーディオ機器の音声出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？
⑧ 異音がする	□ オーディオケーブルが確実に接続されていますか？

クリーニング

■ **万一、モニタ内部に異物または水などの液体が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または飯山リペアセンター サポート・修理受付にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電または故障の原因となります。**

■ **安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて 行ってください。感電の原因となることがあります。**

補足

■ 液晶パネル表面は傷つきやすいので、硬い物でこすったり、ひっかいたりしないでください。

■ キャビネットや液晶パネルを痛めないために、次の溶剤は使用しないでください。

・シンナー
・ベンジン
・研磨剤
・スプレークリーナー
・ワックス
・酸性、アルカリ性の溶剤

■ キャビネットにゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

キャビネット 柔らかい布を薄い中性洗剤でわずかに湿らせて汚れを落としてください。その後乾いた柔らかい布で拭いてください。

液晶パネル 定期的に柔らかい布でやさしく拭いてください。ティッシュペーパー等で拭くと傷が入る恐れがありますので、使用しないでください。

アフターサービス

保証書／保証期間について

■ 本製品の保証書は、本書裏表紙に記載されています。

■ 保証書の「販売店名・お買い上げ日」などの所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■ 保証期限は本体お買い上げ日より3年間です。
ただし、液晶パネルおよびバックライトの保証期限は1年間となります。
また、保証期間内でも有料修理とさせていただく場合があります。詳しくは、保証書裏面の<保証条件>をご確認ください。

修理サービス

■ 「故障かなと思ったら」でチェックしても症状が解消されない場合は、お買い上げの販売店または飯山リペアセンター　サポート・修理受付へご連絡ください。

■ 修理や点検のためモニタを輸送される時は、専用の梱包箱、クッションをご使用ください。他の梱包材料を使って輸送した場合、モニタが破損したり、故障の原因となることがあります。なおこの事由による修理は保証期間内であっても有料となります。
お手元に専用の梱包材料がない場合は、送付前に必ず飯山リペアセンター　サポート・修理受付までご連絡ください。

■ 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）は、製造終了後5年間保有することを基本としております。しかし、部品によっては稀に5年間保有することができない場合や標準品とは違う同等品となる場合もございますのであらかじめご了承ください。また、補修用性能部品の5年間の保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの販売店または飯山リペアセンター　サポート・修理受付にご相談ください。

■ 修理の際に弊社品質基準に適合した再生部品を使用することがございます。あらかじめご了承ください。

日本語

リサイクル／廃棄について

■ 本製品を、ごみ廃棄場で処分される一般のごみといっしょに捨てないでください。

■ 本製品に使用している蛍光管には水銀が含まれていますので、本製品を弊社以外へ廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

■ 本製品を一般家庭でご使用の場合は、弊社が無償で回収・再資源化いたします。ただし、本製品を事業所でご使用の場合は、対象外となります。

■ リサイクル／廃棄の詳細については弊社ホームページをご覧いただくか、飯山リペアセンター　リサイクル受付へお問い合わせください。

リサイクル／廃棄についてのお問い合わせ
飯山リペアセンター リサイクル受付
TEL　0269-81-2072

このマークが表示されている弊社製品は、
弊社が無償で回収・再資源化いたします。
詳細は弊社ホームページをご参照ください。
URL:http://www.iiyama.co.jp

付録

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

一般仕様：ProLite B2409HDS

サイズカテゴリ		24”
液晶パネル	駆動方式	a-Si TFT アクティブマトリックス
	サイズ	対角 60cm（23.6”）
	画素ピッチ	水平 0.2715mm×垂直 0.2715mm
	輝度	300cd/m^2（最大）
	コントラスト比	1000：1（標準），ACR機能有
	視野角	左右各85°上下各80°（標準）
	応答速度	5ms（黒→白→黒），2ms（グレー←→グレー）
最大表示色		約1670万色
走査周波数		アナログ：水平：24～80kHz　垂直：55～75Hz デジタル：水平：30～80kHz　垂直：55～75Hz
解像度		1920×1080（最大），2.1MegaPixels
信号入力コネクタ		D-SUBミニ15ピンコネクタ, DVI-D 24ピンコネクタ, HDMIコネクタ
プラグ＆プレイ機能		VESA DDC2B™対応
入力同期信号		セパレート同期：TTL，正極性／負極性
入力映像信号		アナログ：0.7Vp-p（標準），75Ω，正極性 デジタル：DVI（デジタルビジュアルインターフェイス規格Rev.1.0）準拠 HDMI(1.2)
音声入力コネクタ		ϕ3.5mm ステレオミニジャック
入力音声信号		1.0Vrms（最大）
スピーカー		2W×2（アンプ付きステレオスピーカー）
ヘッドフォン端子		ϕ3.5mm ステレオミニジャック
最大表示範囲		水平：521.3mm　垂直：293.2mm
入力電源		AC100～240V 50/60Hz 1.5A
消費電力		43W（標準） パワーマネージメントモード時：2W（最大）
外形寸法, 重量		561.0（幅）× 413.5～523.5（高）× 249.5（奥行）mm，7.7kg
角度調節範囲		上方向：20°，左右方向：各170°
環境条件		動作時：温度 5～35℃ 湿度 10～80%（結露なきこと） 保管時：温度 −20～60℃ 湿度 5～85%（結露なきこと）
適合規格		TCO’03, CE, TÜV-GS, PSE

補足 * オーディオ機器未接続時。

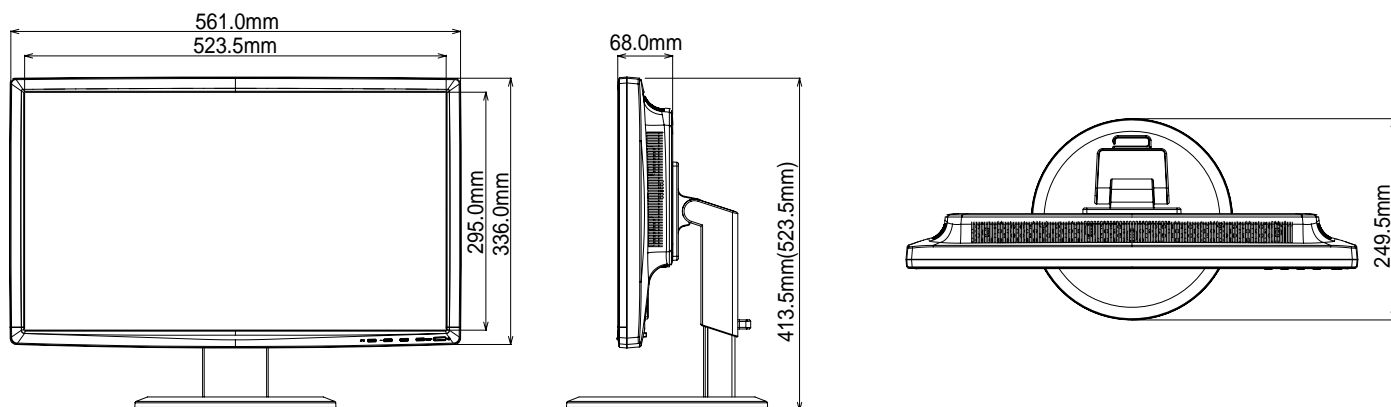
日本語

一般仕様：ProLite E2209HDS

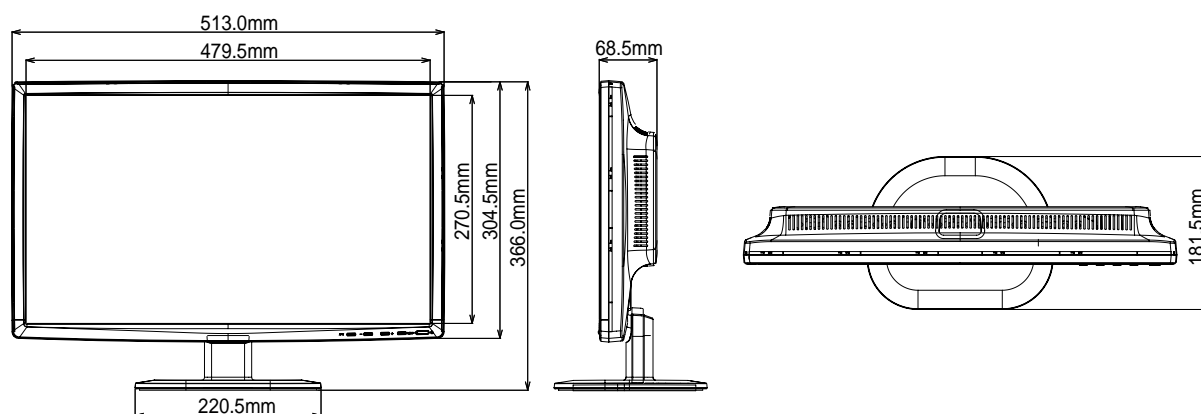
サイズカテゴリ		22”
液晶パネル	駆動方式	a-Si TFT アクティブマトリックス
	サイズ	対角：55cm（21.5”）
	画素ピッチ	水平 0.248mm×垂直 0.248mm
	輝度	300cd/m^2（最大）
	コントラスト比	1000：1（標準），ACR機能有
	視野角	左右各85° 上下各80°（標準）
	応答速度	5ms（黒→白→黒），2ms（グレー←→グレー）
最大表示色		約1670万色
走査周波数		アナログ： 水平：24～80kHz 垂直：55～75Hz デジタル： 水平：30～80kHz 垂直：55～75Hz
解像度		1920×1080（最大），2.1MegaPixels
信号入力コネクタ		D-SUBミニ15ピンコネクタ, DVI-D 24ピンコネクタ, HDMIコネクタ
プラグ＆プレイ機能		VESA DDC2B™対応
入力同期信号		セパレート同期： TTL, 正極性／負極性
入力映像信号		アナログ：0.7Vp-p（標準），75Ω, 正極性 デジタル：DVI（デジタルビジュアルインターフェイス規格Rev.1.0）準拠 HDMI(1.2)
音声入力コネクタ		φ3.5mm ステレオミニジャック
入力音声信号		1.0Vrms（最大）
スピーカー		2W×2（アンプ付きステレオスピーカー）
ヘッドフォン端子		φ3.5mm ステレオミニジャック
最大表示範囲		水平：477.5mm 垂直：268.6mm
入力電源		AC100～240V 50/60Hz 1.5A
消費電力		41W（標準） パワーマネージメントモード時：2W（最大）
外形寸法, 重量		513.0（幅）× 366.0（高）× 181.5（奥行）mm, 4.3kg
角度調節範囲		上方向：20°, 下方向：5°
環境条件		動作時： 温度 5～35℃ 湿度 10～80%（結露なきこと） 保管時： 温度 −20～60℃ 湿度 5～85%（結露なきこと）
適合規格		CE, TÜV-GS, PSE

補足 * オーディオ機器未接続時。

日本語

外形寸法図：ProLite B2409HDS

外形寸法図：ProLite E2209HDS

日本語

対応信号タイミング　PC入力時

ビデオモード			水平周波数	垂直周波数	ドットクロック	
VESA	VGA	640×480	31.469kHz	59.940Hz	25.175MHz	
			37.500kHz	75.000Hz	31.500MHz	
			37.861kHz	72.809Hz	31.500MHz	
	SVGA	800×600	35.156kHz	56.250Hz	36.000MHz	
			37.879kHz	60.317Hz	40.000MHz	
			46.875kHz	75.000Hz	49.500MHz	
	XGA	1024×768	48.363kHz	60.004Hz	65.000MHz	
			56.476kHz	70.069Hz	75.000MHz	
			60.023kHz	75.029Hz	78.750MHz	
	SXGA	1280×1024	63.981kHz	60.020Hz	108.000MHz	
			79.976kHz	75.025Hz	135.000MHz	
	WXGA+	1440×900	55.935kHz	59.887Hz	106.500MHz	
			70.635kHz	74.984Hz	136.750MHz	
	WSXGA+	1680×1050	65.290kHz	60.000Hz	146.250MHz	
	Full HD	1920×1080	66.590kHz	59.930Hz	138.500MHz	
Macintosh		640×480	35.000kHz	66.667Hz	30.240MHz	*
		832×624	49.725kHz	74.500Hz	57.283MHz	*
		1024×768	60.150kHz	74.720Hz	80.000MHz	*
PC9801		640×400	24.827kHz	56.424Hz	21.053MHz	*

補足　*　デジタル入力に対応しておりません。

日本語

〈保証条件〉

1. 取扱説明書・本体貼付ラベル等に従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証書の記載内容にもとづき飯山リペアセンターが無料修理します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、お買い上げの販売店または飯山リペアセンターサポート・修理受付に保証書をご提示の上依頼してください。
   尚、製品を発送される場合の送料はお客様ご負担となりますのでご了承ください。
3. 本製品の故障やその使用によって生じた直接または間接の損害について、当社はその責任を負わないものとします。
4. 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
   (1) 保証書をご提示されないとき、購入日が確認できる帳票類がないとき。
   (2) 本保証書の所定事項の未記入、記載内容の書き換えられたもの。
   (3) 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異, 公害や異常電圧による故障または損害。
   (4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下等のお取り扱いが不適当なため生じた故障または損害。
   (5) 取扱説明書に記載の使用方法や注意に反するお取り扱いによって生じた故障または損害。
   (6) 接続している他の機器に起因して生じた故障または損害。
   (7) 消耗品類の交換。
   (8) 中古販売の製品。
   (9) 改造された製品。
   (10) 液晶パネルおよびバックライトの経年劣化。
   (輝度の変化, 色の変化, 輝度と色の均一性の変化, 焼き付き, 欠点の増加など。)
5. 本保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお　様の　　上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についての詳細はお買い上げの販売店または飯山リペアセンター　サポート・修理受付までお問い合わせください。

お客様の個人情報の管理および利用について

当社は、お客様の個人情報について、「個人情報の保護に関する法律」および「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」に準拠し、取り扱いを定めて、適切に管理, 利用いたします。
当社が定める「個人情報保護方針」は、下記URLからご確認ください。

URL http://www.iiyama.co.jp/article/privacy_policy.html

保証書

本保証書は日本国内においてのみ有効です。

本保証書は、本記載内容で無料修理させていただくことをお約束するものです。本保証書は所定事項を記入して効力を発するものですから、必ず型名，製造番号，お買い上げ日，お客様名，ご住所，電話番号，販売店名の記入をご確認ください。
また、保証期間内でも有料修理とさせていただく場合があります。詳しくは、裏面の<保証条件>をご確認ください。

型名　　　　製造番号	販売店名・住所・TEL・担当者
保証期間 本体：3年, 液晶パネルおよびバックライト：1年	
お買い上げ日　　年　　月　　日	
お客様名	
住所　〒 TEL　　（　　）	

IIYAMA CORPORATION

製品の取り扱いおよび修理についてのお問い合わせ

飯山リペアセンター　サポート・修理受付

■月曜日～金曜日　9:00～17:00（但し、弊社指定休日は除く）
TEL　03-3570-6374
FAX　03-3570-6375

特定化学物質の含有情報は下記の弊社ホームページに記載しています。
URL: http://www.iiyama.co.jp/support/eco/jmos/index.html

サポートの最新情報(連絡先等)は弊社ホームページに記載しています。
お問い合わせの前に、ホームページにてご確認ください。
URL: http://www.iiyama.co.jp/

M046B01